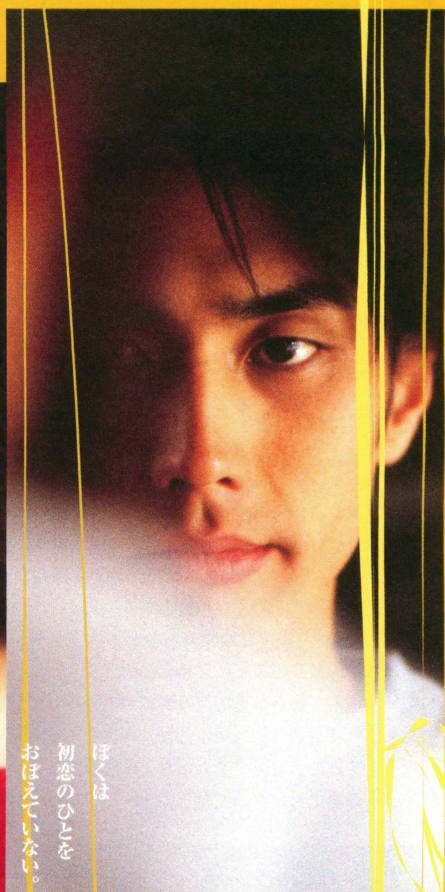




ひとり待つ
部屋は嫌い。



わたしは
誰からも
愛されない。



ほくは
初恋のひとを
おぼえていない。

ひまわり

himalwari

どこにいても誰にいても、陽のあたる場所を探してる。

行定勲監督作品

麻生久美子 / 河村彩 / 袴田吉彦

マギー(ジョビジョバ) / 粟田麗 / 土屋久美子 / ひふみかおり / ボブ鈴木 / 戸田昌宏 / 光石研 / 北村一輝 / 津田寛治 / 堺雅人 / 田中哲司
伊藤洋三郎 / 有福正志 / 銀粉蝶 / 北見敏之 / 根岸季衣

製作：原田宗一郎 プロデュース：佐谷秀美+石田幸一 プロデューサー：益子昌一 脚本：佐藤信介+行定勲 原案協力：樽谷春緒 音楽：朝本浩文 (ram jam world) 撮影：福本淳 照明：中須岳士 録音：滝澤修
美術：須坂文昭 衣裳：浜井貴子 メイク：伊東史子 編集：今井剛 制作：スープレックス 特別協力：吉野房彦 特別協賛：クラウンファンシーグッズ株式会社 ©「ひまわり」製作委員会 製作・配給：KSS

行定勲監督作品

ひまわり



麻生久美子 袴田吉彦 河村彩

**夏の陽ざし、
向日葵の花、
金環蝕、
どうしても顔の思い出せない少女…。
たとえば、そんな初恋の記憶。**

海沿いにある故郷を離れ、東京で暮らす輝明は、何気なく見ていたニュースで小学校のクラスメイトだった真鍋朋美が海難事故で行方不明になったこと知る。しかも、少し前に留守中、彼女から電話があったというのだ。十年以上も音信不通で、もう顔もすぐには思い出せない少女。朋美は、どうして自分に電話をかけたのだろう…。草原。逆光で立つ少女のうしろで、月が太陽を覆う。少女の表情がだんだん浮かび上がる…。輝明の記憶。その少女は朋美なのか？金環蝕は向日葵のようにも見える…。遺体が上がらないまま朋美の葬式が進められていく。久しぶりに集まった同級生たち。朋美をめぐる悪い噂。次々と現れる彼女の元恋人たち。本当の彼女を誰も知らない。幾つもの過去と現在が交錯し、やがて、朋美が大切に抱えていたひとつの思い出が、浮かび上がっていく…。



**どこにいても誰といっても
ずっと遠くを見つめてしまう…。
あたたかく、乾いたノスタルジアを湛えた作品が生まれた。**

岩井俊二監督作品で助監督を勤めてきた行定勲による、劇場公開初監督作品。伊豆、川奈での撮影を経て、完成。小さな謎や無関係に見えていた登場人物たちがラストシーンに向かって結びつき、一本の映画を紡ぎだしていく物語は、市川準監督作品『東京日和』『ざわざわ下北沢』の佐藤信介と行定勲の共同脚本。撮影は、クリストファー・ドイル、篠田昇のもとでキャリアを積んだ『DOG-FOOD』『タイムレス メロディ』の福本淳。若いスタッフによる、甘いだけでも、苦いだけでもない、誰もが心のどこかで大切にしている初恋の記憶を描き出した作品の誕生である。

**あの頃は、いつも一緒だったのに。
いつの間にか大人になっていた同級生たちそれぞれの今。
舞台、音楽、映画…ジャンルを越えて活躍する初々しい才能が結集。**

出演は、『カンゾー先生』で日本アカデミー賞最優秀助演女優賞をはじめ数々の賞を受賞した麻生久美子が行方不明のヒロイン朋美を、『二十才の微熱』の袴田吉彦が朋美の初恋の相手でもある輝明を、これが映画デビュー作となる河村彩が輝明の恋人・由香里を演じるほか、マギー <JOVIJOVA> (『アドレナリンドライブ』、『スペーストラベラーズ』原作)、栗田麗 (『シェイディー・グロウヴ』)、土屋久美子 (『パタアシ金魚』)、光石研 (『Helpless』、『シン・レッド・ライン』)、北村一輝 (三池崇史『日本黒社会』、『皆月』)、戸田昌宏 (『CURE』)、ボブ鈴木 (『ブルース・ハーブ』)、堺雅人 (『火星のわが家』)、BOSSのCM等でも知られる津田寛治、ミュージシャンのひふみかおりなど、舞台に映画に活躍する若手俳優たちが輝明の同級生や朋美の恋人たちで出演。瑞々しい魅力に溢れている。

7月下旬より、太陽を夢見てロードショー
特別鑑賞券 ¥1500 (税込) 好評発売中 (当日：一般 ¥1800のところ)

劇場窓口、都内各プレイガイド、チケットぴあにてお求め下さい。
※当劇場窓口にてお求めの方に限り、“ひまわりの種” プレゼント

新宿 武蔵野館

シネマ・カリテ

新宿駅中央口・三越ウラ
03-3354-5670 musashino-k.co.jp